



～いけがみ歯科は、頑張るあなたを応援しています～

歯っぴ～通信

2月号

平成21年 Vol.14



冬らしくない寒さ？

インフルエンザ

1月は、インフルエンザがとても流行っていましたが、皆さんは大丈夫でしたか？岡山県にはインフルエンザ警報というのが発令されましたよね。全国的にも、岡山県の発症率というのはいくら高いようですよ。やはり、雨の少ない地域だけあって、より乾燥しているんでしょうか。保育園や小学校、中学校でも、学級閉鎖、学年閉鎖があり、ひどい所では学校閉鎖したところもあったようです。

私たちは、直接患者さまとお話する仕事なので、自分がインフルエンザにかからないように、とても気を付けています。手洗いやうがい、マスクといった基本的なことはきちんとしています。春先に流行するタイプのインフルエンザもあるようなので、お互い気を付けましょうね。

こんにちは、いけがみ歯科クリニック院長の池上誠です。今月も患者様とのコミュニケーションのための【歯っぴ～通信】をお届けしますね。2月になりましたね、1月は、寒い日もありましたが、なんとなく例年よりも暖かかったように感じられました。みなさんはどうお感じになりましたか？この文章を書いている、2月になって本当に2月らしい寒さが来るんだろうか？などと少し心配しています。寒くないに越したことはないですが、やはり寒くないと冬らしくないなぁという気持ちもあります。そんな中、この年度末の1月2月3月は、昔から「行く、過ぎる、表る」という言葉に象徴されるように、あっという間に過ぎてしまいますよね。歳を食うごとにそれを実感しています。とくに2月は日数も少ないので、よけいにそう感じます。そう感じてしまうことがわかっている状態で、「では、何をすべきか？」をきちんと見極めて、この2月を過ごしたいと思っています。部分を短く、立巻を短くする2月です。春の上では春ですが、まだまだ季節は冬です。本当の春がやってくるのを楽しみにしながら、この2月を大切に過ごしたいと思います。 院長 池上 誠

歯っぴ～通信 歯っぴ～話 歯っぴ～フランクコントロールのお話～

みなさん「フランクコントロール」ってご存知ですか？テレビコマーシャルや雑誌なんかによく出てきますよね。今週はその「フランクコントロール」のお話です。では、その「フランクコントロール」って何のことかと思いませんか？答えは【歯みがき】のことです。正確には、お口の中のフランク（歯を悪くする菌・歯垢）を歯みがきでなるべく少ない状態にコントロール（歯づ）しましょうということなんです。フランクが付かにくいようにうがい薬をつかったり、ざらざら歯をやめてフランクが溜めにくく機会を減らしたりするのもフランクコントロールなんです。でもフランクコントロールの基本はやっぱり毎日の歯みがきです。ホントのことを言うとこのフランクコントロールは一日一回でいいんです。なぜかという、この歯を悪くする菌・歯垢は24時間たたくないと悪いことができないからです。なので、一日一回でいいんです。とはいえ、毎日一生懸命磨いていてもどこかに磨き残しがあるときちんとコントロールしているとは言えなくなります。24時間以上たたく歯を磨いてしまえば、当クリニックでは治療を始める最初の段階でフランクコントロールの習慣、テクニック、その方の苦手な部位を知ってもらっています。歯垢を掃除してみることも出来ます。お気軽におたずねください。

アンケートに記入してくださった【あなたの声】の紹介

治療後に記入していただいているアンケートで「あなたの声をきかせてください」とお願いしています。そのアンケートで寄せられた【あなたの声】を紹介させていただきます！

・今まで家の近くの歯医者でしたが、簡単に痛いところだけを見て、歯の検査もなく治療してきましたが、池上歯科にこまっていたら、歯の大切さがよくわかるようになりました。皆さんも親切でこれからはよろしくね。

(岡山市・井上万亀子さん)



いけがみ歯科クリニック

〒700-0827

岡山市平野町6-27 WAKAビル2F

TEL 086692377-7731

西川台1-岡山駅から10分

発行：池上 誠